

2023年3月期 第2四半期決算概要

- 売上高、営業利益は増収増益、かつ上期業績予想を達成
- 建築用ガラス事業および高機能ガラス事業の好調が継続、自動車用ガラス事業でも価格転嫁が一部実現。原燃材料やその他コスト増加の影響を販売価格改善及び販売数量増加で吸収
- 金利上昇に伴い、欧州の自動車用ガラス事業について、のれん・無形資産の減損損失を個別開示項目に計上。ピルキントン社買収以来の財務上のリスクを軽減し、強い財務基盤の回復へ
- 自己資本比率はRP24の財務目標数値を上回る15%超を維持
- 想定を上回る上期実績および円安の影響を踏まえ、通期売上高予想を上方修正。下期の不透明な事業環境を考慮し、通期営業利益予想は据え置き

1. 2023年3月期 第2四半期決算

- 第2四半期（7-9月期）の売上高は1,977億円（前年同期比+547億円、+38.3%）、営業利益は62億円（同+6億円、+11.4%）
- 累計の売上高は3,757億円（前年同期比+850億円、+29.2%）、営業利益は144億円（同+17億円、+13.7%）
- 個別開示項目に、欧州の自動車用ガラス事業について、2006年のピルキントン社買収により生じたのれんおよび無形資産488億円の減損損失を計上。これにより純損失となるが、ピルキントン社買収以来の財務上のリスクを軽減し、RP24の重点施策である強い「財務基盤の回復」を目指す
- 自己資本比率は15.1%（前年末比△0.4pt）とRP24財務目標数値である10%以上を維持

<損益計算書および財務指標>

(億円)	7-9月期（3か月）			累計（6か月）		
	2022年 3月期	2023年 3月期	差異	2022年 3月期	2023年 3月期	差異
売上高	1,430	1,977	547	2,907	3,757	850
営業利益	55	62	6	127	144	17
営業利益率	3.9%	3.1%	△ 0.8 pt	4.4%	3.8%	△ 0.6 pt
個別開示項目（純額）	47	△ 473	△ 520	45	△ 449	△ 495
個別開示項目後営業利益	102	△ 411	△ 513	172	△ 305	△ 477
金融費用（純額）	△ 29	△ 37	△ 8	△ 58	△ 66	△ 7
持分法による投資利益	19	10	△ 9	33	32	△ 1
持分法投資に関するその他の利益（△損失）	-	5	5	-	△ 7	△ 7
税引前利益（△損失）	92	△ 434	△ 526	147	△ 345	△ 493
当期利益（△損失）	67	△ 403	△ 470	96	△ 370	△ 466
純利益（△損失）*	61	△ 412	△ 473	86	△ 388	△ 474
EBITDA	146	161	15	311	342	30
フリー・キャッシュ・フロー	82	34	△ 48	△ 14	△ 95	△ 81

*親会社の所有者に帰属する当期利益（△損失）

(億円)	2022年 3月末	2022年 9月末	増減
総資産	9,393	10,074	682
親会社の所有者に帰属する持分	1,453	1,519	66
自己資本比率	15.5%	15.1%	△ 0.4pt

<各事業の概況>

建築用ガラス事業	全地域で堅調な需要が継続、為替影響もあり大幅増収。価格改善およびコスト削減により原燃材料価格高騰影響の軽減を図り上期累計では増益、しかし第2四半期は欧州での需要軟化もあり減益。太陽電池パネル用ガラスの需要も堅調継続
自動車用ガラス事業	上期は為替影響もあり増収だが、半導体等部品不足による自動車生産制約と原燃材料価格高騰の影響が続き、コスト削減努力にもかかわらず営業損失計上。第2四半期に自動車メーカーに対する販売価格改善が一部実現、営業損失は縮小
高機能ガラス事業	堅調な需要とコスト削減を背景に、前年9月に売却したバッテリーセパレーター事業を除き増収増益を継続。全体として高い収益性を維持

(億円)	2022年3月期		2023年3月期		前年同期比	
	7-9月期	累計	7-9月期	累計	7-9月期	累計
売上高						
建築用ガラス事業	675	1,320	965	1,821	290	501
自動車用ガラス事業	643	1,352	903	1,719	260	367
高機能ガラス事業	103	217	102	202	△1	△15
その他	8	18	7	15	△2	△3
売上高合計	1,430	2,907	1,977	3,757	547	850
営業利益						
建築用ガラス事業	75	136	66	155	△9	19
自動車用ガラス事業	△23	△11	△10	△17	13	△6
高機能ガラス事業	29	57	25	57	△4	△0
その他	△25	△56	△19	△51	6	5
営業利益合計	55	127	62	144	6	17

2. 2023年3月期 通期業績予想

- 想定を上回る上期実績および円安影響を踏まえ、通期売上高予想を上方修正
- 下期の不透明な事業環境を考慮し、通期営業利益予想は据え置き
- エネルギー価格高騰、世界的なインフレ拡大等で投入コスト増加の影響が継続
- 引き続き全社的なコスト削減、高付加価値製品拡大、価格改善に努め、収益性改善に注力
- 通期純損失予想となるが、 Pilkinton社買収以来の財務上のリスクを軽減。RP24の重点施策である強い「財務基盤の回復」を目指す

<業績予想>

(億円)	2023年3月期	2023年3月期	2023年3月期	2023年3月期	2022年3月期
	上期予想 (前回)	上期実績	通期予想 (前回)	通期予想 (今回)	通期実績
売上高	3,600	3,757	6,900	7,400	6,006
営業利益	110	144	180	180	200
個別開示項目(純額)	20	△449	20	△450	36
個別開示項目後営業利益 (△損失)	130	△305	200	△270	236
金融費用(純額)	△60	△66	△130	△130	△125
持分法適用会社に対する 金融債権の減損損失	-	-	-	-	△34
持分法による投資損益	} 20	32	} 40	} 50	75
持分法投資に関する その他の利益(△損失)		△7			△34
税引前利益(△損失)	90	△345	110	△350	119
当期利益(△損失)	40	△370	50	△380	68
純利益(△損失)*	30	△388	40	△410	41

*親会社の所有者に帰属する当期利益(△損失)

3. RP24に基づく構造改革施策の進捗

リバイバル計画24(RP24)に基づく構造改革施策の主な進捗

引き続き持続的な成長が可能な事業体質を目指してRP24の主要施策を推進。
財務目標数値では、多額の減損損失計上後も、目標を上回る自己資本比率を維持

3つの改革

● 事業構造改革

- マレーシアの既存フロート窯に、太陽電池パネル用ガラスを製造するためのオンラインコーティング設備を新設（2024年3月期より生産開始予定）
- アルゼンチン2基目の新フロート窯建設完了、第3四半期から生産開始、市場拡大が続いている南米での事業拡大を推進



アルゼンチン新フロート窯

2つの重点施策

● 財務基盤の回復（2023年3月期 4-9月期実績）

- 欧州の自動車用ガラス事業について、のれんおよび無形資産の減損損失488億円を計上後も、自己資本比率15%超を維持、ピルキントン社買収以来の長年の財務上のリスクを軽減、強固な財務基盤の回復を推進
- 2022年9月末現預金残高569億円、未使用融資枠379億円

● 高収益事業へのポートフォリオ転換

- 中国の大手自動車用ガラスメーカーと中国の自動車用ガラス事業統合について契約

2022年11月10日 | 2023年3月期第2四半期決算報告

RP24 説明資料:

https://www.nsg.co.jp/-/media/nsg-jp/ir/ir-presentations/mtrp24presentation2021_j01.pdf

(ご参考) ピルキントン社買収に伴う欧州の自動車用ガラス事業ののれん・無形資産の減損

ピルキントン社買収に伴う欧州自動車事業ののれん・無形資産の減損 (ご参考)

のれん・無形資産の減損損失計上は、主に当第2四半期中の欧州の金利上昇に伴う割引率の上昇によるものであり、当事業の業績回復見通しは変わらず

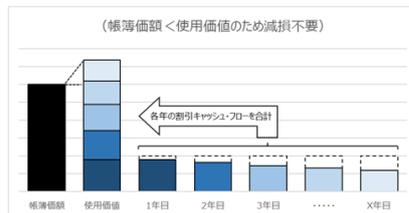
のれん・無形資産の減損テストとは

- 資金生成単位（事業・地域）の使用価値と、資金生成単位内の資産の帳簿価額を比較
- 使用価値は、各資金生成単位の将来営業キャッシュ・フローの見通しを適切な割引率で割り戻した現在価値として算定

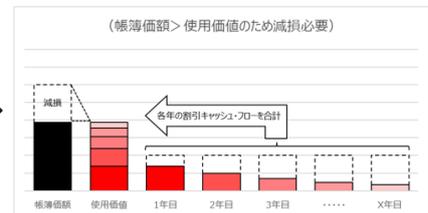
当第2四半期における欧州自動車用ガラス事業について、のれんおよび無形資産の減損

- 欧州における金利上昇に伴い減損テストに使用する割引率の約2%上昇（6.92%⇒8.8%）が主因
- 当事業の業績が中期的に回復するとの見直しに変更なし
- 資産評価に伴う一過性の損失、キャッシュ・アウトを伴わない
- 円安等による自己資本の拡大傾向の中、自己資本への影響は比較的軽微
- 欧州の自動車用ガラス事業について、ピルキントン社買収に伴うのれん・無形資産の全額を減損、財務上のリスクを軽減

減損テストの例



将来キャッシュ・フローは不変だが、割引率の上昇により減損が発生



2022年11月10日 | 2023年3月期第2四半期決算報告

<お問い合わせ>

広報部 Tel : 03-5443-0100